

静岡大学

Department of Advanced Practice in School Education

教職大学院

案内

静岡大学大学院

教育学研究科

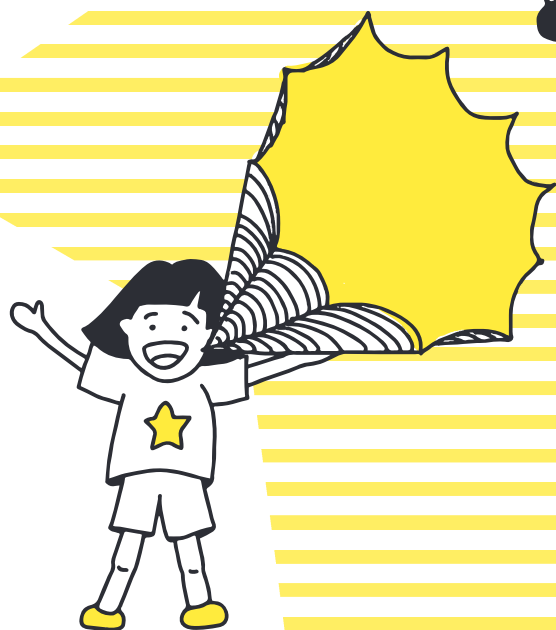
教育実践高度化専攻

2027



静岡大学
Shizuoka University

子どもがスターになる、学校がステキになる。



教室にいる子どもたち。
色々な個性を持っています。

変わった生き物が好きな子、
大人よりもメカに詳しい子、
次々に「なぜ？」を投げかける子、
何にでも感心してしまう子、
休み時間に真っ先に校庭へ飛び出す子、
自分の考えに自信を持ってない子、
声の大きな子、
黙々と辞典を読んでいる子、
洋楽ばかり聞いている子、
何かを「変えたい」と思っている子…。

先生は子どもたちの姿をみとり、
その個性を最大限に引き出し、
子どもたちは互いを尊重し合うこと
が出来れば、
学校ではいつも誰かが輝けます。
子どもたちがスターになる学校は
ステキです。
子どもたちと共に成長できる学校も
ステキです。
ステキな学校でステキな先生になり
ましょう。



高度な実践的指導力を身につけた教員を目指して

静岡大学大学院教育学研究科は、令和2年度から修士課程を教職大学院に一本化し、教育実践高度化専攻（教職大学院）と共同教科開発学専攻（博士課程）の2専攻に改組されました。

教職大学院は、学校や地域の教育リーダーとして活躍できる高度な専門的職業人としての教員の養成を目的として、教育に対する使命感や倫理観等の教育的素養を高めるとともに、理論知と実践知とを往還・融合する新しい知識体系の構築に取り組み、「授業力」「生徒指導・支援力」「教育課題対応力」「学校改善リーダーシップ」の4つの資質・能力に基づく高度な実践的指導力を育成します。

教職大学院には、教育実践開発コース（現職院生）、学校組織開発コース（現職院生）、教育実践力育成コース（学卒院生）の3コースがあり、学校組織開発コースには「学校組織」の1分野が、教育実践開発コースと教育実践力育成コースにはこれまでなかった「教科教育」「幼児教育」「養護教育」「現代的教育課題」の各分野を含めて7分野が設置されています。カリキュラムは、理論と実践の往還を意識した「共通科目」「実習科目」「分野科目」「課題研究」で編成され、現職院生と学卒院生が共に学びあう協働的な学びを保障しています。また、中・高等学校免許取得者が小学校免許を取得することができる小学校免許取得プログラム（履修年限3年）、静岡県・静岡市・浜松市教員採用試験合格者に採用の猶予が与えられる特例措置等、多様な学びに対応する履修制度も充実しています。

教職大学院は、高度な実践的指導力を身につけたい、より深い学びを追究したい、と考えているみなさんをお待ちしています。

教育学研究科長 鎌塚 優子

教職大学院の「求める学生像」

1 ディプロマポリシー

学校や地域の教育リーダーとして活躍できる高度な専門的職業人としての教員の養成を目的として、教育に対する使命感や倫理観等の教育的素養を高めるとともに、理論知と実践知とを往還・融合する新しい知識体系の構築に取り組み、教科の専門性や学習理論等に基づく授業力、教育心理学や臨床心理学等を踏まえた子ども理解に基づく生徒指導・支援力、現代的な教育課題に対応する教育課題対応力、学級や学校組織の協働化・活性化を図る学校改善リーダーシップに基づく高度な実践的指導力を身につけている者に教職修士（専門職）の学位を授与する。

2 カリキュラムポリシー

教育活動に積極的に取り組み、将来的に様々な教育分野でリーダー的役割を担うことのできる新人・若手教員、及び専門研修リーダーなど学校や地域の教育リーダーとして活躍できる高度な実践的指導力を備えた中核的な中堅教員の養成を目的として設計されたカリキュラムに基づいて、下記の科目区分のもと合計50単位以上を履修する。

- 1 教育に対する使命感・倫理観の教育的素養を高めるとともに、授業力、生徒指導・支援力、教育課題対応力、学校改善リーダーシップの資質・能力に関わる最新の教育動向等についての理解を深め、基盤的学力を身につけることを目指す「共通科目」（9科目 18単位）
2. 授業力、生徒指導・支援力、教育課題対応力、学校改善リーダーシップのいずれかに関わる専門分野に重点をおいて学びを深め、高度な実践的指導力を育成・向上することを目指す「分野科目」（7科目 14単位以上）
3. 個人が分野に関わる問題関心に基づいた教育課題を設定し探究することを目指す「課題研究」（4科目 8単位）
4. 「理論と実践の往還」を強く意識して「共通科目」、「分野科目」、「課題研究」での学びと連動させながら、高度な実践的指導力をより一層高めるとともに、専門分野に関わるリーダーとして活躍できる教員の養成をねらいとする「実習科目」（3科目 10単位）

その上で、各分野に関わる実践的研究に専任教員の支援を受けて取り組み、その成果を報告書の形で提出する。

3 アドミッションポリシー

学部卒等大学院生については、「教員としての基礎的・基本的な資質能力を身につけていることに加え、他者と協働する力を備えていること」を、一定の教職経験を有し修了後に中核的な中堅教員として活躍が期待できる現職大学院生については、「本専攻で学習する目的とねらいが明確であり、豊かな教科指導・生徒指導の実践経験を有していること」を求めています。また、学部卒等大学院生・現職大学院生双方に共通して、授業力、生徒指導・支援力、教育課題対応力や学校改善リーダーシップの基礎となる理論と実践を往還させて、教育課題・組織課題を解決するための実践的指導力を高めたい人を求めています。

教育実践高度化専攻の組織図

